

# ページをめくると 世界が広がる



▶「医療系の小説が好き」と話す高校生(1年)(7月20日、渋谷)

## 読書の魅力

読書は、自分の知らない物語に触れたり、新たな世界や考えを知るきっかけになります。読書の魅力や本を通じて学んだことなどを高校生に聞きました。  
(高校生は仮名)

### どんな本を選ぶ？

本を選ぶときのポイントを持っていて、何をきいて好きになったか、生に聞きました。

「映画やドラマ化された原作を読む」という沙良さん(3年)。最近『君の臓をたべたい』(住野よる著)を読んだという。普段はあまり本を読まないけれど、映画化された話題になっているものは「読むことがある」。

「好きな作家の本を買おう」という里菜さん(2年)は、姉が山田悠介の本は一日に2〜3冊読む人も



▲夏帆さんの好きな『華舞鬼町おぼけ写真館』(蒼月海里著)(7月20日、渋谷)

### 2017年度「朝の読書」 人気ランキング〈高校生〉

順位	書名(シリーズを含む)	著者名ほか	出版社
1	君の臓をたべたい	住野よる	双葉社
2	か「く」「し」「ご」「と」	住野よる	新潮社
3	また、同じ夢を見ていた	住野よる	双葉社
4	植物図鑑	有川浩	幻冬舎
5	空想科学読本	柳田理科雄	KADOKAWA 汐文社
6	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
7	ハリー・ポッター	J.K.ローリング 作 松岡祐子 訳	静山社
8	ソードアート・オンライン	川原礫	KADOKAWA
9	ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文	宝島社
10	羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
11	オーバーロード	丸山くがね	KADOKAWA
12	コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋
13	よるのぼけもの	住野よる	双葉社
14	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和	サンマーク出版
15	夜行	森見登美彦	小学館

「朝の読書推進協議会」調査(2017年4月~18年3月末)より作成

### 登場人物に共感

いけば、朝読書以外では全分が没頭できる時間だと言います。「他のこととく読まない人もいます」と言います。そんな中で「月に10冊は読む」という夏帆さんは自分の知らない世界や考えに触れられる。

埼玉の美紅さん(2年)

は、両親が読書好きで、小さい頃から家にたくさん本がありました。「親が読みたい本を勝手に読んで、気に入らなければ本を返していい」というルールがある。ファンタジーやホラー、ミステリーなどさまざまなジャンルを読むという美紅さん。特にホラー小説が好きで、その中でも京極夏彦の『巷説百物語』シリーズがお気に入りだ。「妖怪をモチーフに感情移入したり、自分の内面や汚い部分を描き換えて読むことが多い」

「友だちに本をプレゼンする」と話します。直樹さん(3年)。「いろいろな世界観に触れてほしいから、あえてその人が読まないジャンルの本を渡している。本を読む楽しさを共有したい」と話します。